

主担当部：農水商工部

（現状と課題）

農水産業や農山漁村が担っている食料の供給、環境等の保全、文化の保存などの多面的機能（※注1）は、集落の合意形成や共同活動などの機能（以下「集落機能」という。）を基礎として維持されてきました。

しかしながら、近年、過疎化、少子高齢化、混住化、生活様式の変化などが進む中で、集落機能が著しく低下してきており、従来の産業振興施策中心の取組だけでは、多面的機能を県民に持続的に提供できない状況になりつつあると危惧されています。

このため、農水産業や農山漁村が持続的に維持・発展できる環境づくりに、農水産業者だけでなく、地域住民も含め地域全体で取り組める体制の構築が求められています。

（重点事業のねらい）

地域における集落機能の再生・充実をはかるため、市町や団体等との連携のもと、地域住民による「気づき」や「やる気」の醸成、集落におけるビジョンの作成などを進めるとともに、作成されたビジョンの具体化に向けて、地域住民や消費者などとの連携、協働により取り組まれる農水産業や農山漁村の持つ多面的機能を維持・向上していくための活動を支援します。

（重点事業の取組目標）

目標項目	「集落未来図」を作成した集落数
------	-----------------

〔目標項目の説明〕

- ・農山漁村における合意形成機能、共同活動機能等（集落機能）を強化・充実するための具体的な設定図「集落未来図」を作成した集落数

（具体的な取組内容）

取組方向1：地域住民の「気づき」「やる気」の醸成に向けて

- （1）地域住民が地域のことを考え、活動をはじめするための「きっかけ」や自らの地域ビジョンとなる「集落未来図」づくりを提案し、新しい時代の農山漁村づくり運動を推進します。
- （2）「集落未来図」の作成を具体的に進めようとする集落等に対し、集落点検・診断やビジョン作成などへの支援を行います。

取組方向2：集落の「未来図」の実現に向けて

- (1) 農地や農村地域の資源や環境を保全するための共同活動を支援するとともに、集団で取り組まれる環境にやさしい農業を推進します。
- (2) さまざまな人との交流を基本として、田舎流スローツーリズムの推進による農山漁村地域のファンづくりを支援するとともに、コミュニティビジネス（※注2）的視点に立った地域資源の活用を積極的に進めます。
- (3) 条件不利地域である離島の活性化をはかるため、集落の創意工夫を生かした新たな取組や漁業・漁村環境の改善に向けた取組などを促進します。

県が他の主体に期待する取組

- 県民・消費者が、農水産業の持つ多面的な機能を理解し、農地や農業関連施設を含めた周辺環境の保全活動に参加します。
- 生産者や生産者団体が、自ら、多面的機能発揮へ積極的に取り組むとともに、地域住民や都市住民との交流に取り組んでいます。
- 市町が、地域における農業ビジョンの明確化、ビジョン達成のための取組の積極的な展開をします。
- 農協等が、生産者の合意形成等への取組の積極的な展開をします。

（※注1）：多面的機能：農林水産業が営まれることによって発揮される国土の安全機能、水源かん養機能、自然環境の保全機能、良好な景観の形成機能、文化の伝承機能、食料の安定供給機能等をさします。

（※注2）：コミュニティビジネス：市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元するという事業

平成19年度 重点事業要求事業一覧

（単位：千円）

事業担当部名	事業名	施策番号 (資料の頁)	施策名	平成19年度 事業費
農水商工部	農地・水・環境保全向上対策事業費（公共事業（農山漁村再生））	223 (p. 24)	農水産業の持つ多面的機能の維持・向上	167,300
農水商工部	離島漁業再生支援交付金事業費	223 (p. 24)	農水産業の持つ多面的機能の維持・向上	13,000
農水商工部	集落機能再生「きっかけづくり」推進事業費	224 (p. 26)	農業を支える生産・経営基盤の充実	5,000
農水商工部	都市との共生による農山漁村再生事業費	532 (p. 113)	元気で魅力ある農山漁村づくり	12,600
（事業 計）				197,900